

平成29年度第1回

鹿児島市国民健康保険運営協議会

会 議 録

## 平成29年度第1回鹿児島市国民健康保険運営協議会

・日 時 平成29年9月4日(月) 14:00～15:30

・場 所 鹿児島市役所本館2階 特別会議室

・委員出席者

国保被保険者を代表する委員 佐々木ミノエ、内恵美子、海江田久美子、水流凉子、  
平ヒロ子

保険医・保険薬剤師を代表する委員 池田耕治、上ノ町仁、下田平幸一、平田哲也、谷口欣平

公益を代表する委員 井戸章雄(会長)、赤星貴子、山野俊郎、久保誠

被用者保険を代表する委員 槇沢幸雄、御牧忍

・鹿児島市出席者 星野市民局長、田畑市民文化部長、池之上国民健康保険課長  
大野主幹(給付係長)、吉留主幹(賦課係長)、上野主幹(納税係長)  
酒井庶務係長、谷口主査、柿田主任

・会議録署名者 (会長) 井戸委員、(署名委員) 水流委員、池田委員、槇沢委員

・会 次 第

1. 開会

2. 市長あいさつ

3. 新委員の紹介

4. 事務局紹介

5. 会長あいさつ

6. 議事

○会議録署名委員の選出

○国民健康保険運営協議会の開催状況等について

○報告・説明 I

(1)本市の国民健康保険事業の現状について

①平成28年度 国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算総括表など

(2)国民健康保険財政健全化計画(素案)パブリックコメント実施結果  
説明について

○諮問

議案:「国民健康保険財政健全化計画(案)について」

○報告・説明 II

(1)国保の都道府県単位化に向けた取組

①国保制度改革の概要(運営の在り方の見直し)

②国保新制度移行に向けた県と市町村との協議体制

③国保改革に係る平成29年度の準備スケジュール

(2)国保事業費納付金等の算定方法について

7. 閉会

## 開 会

司 会

皆様、こんにちは。

それでは定刻になりましたので、ただいまより平成29年度第1回国民健康保険運営協議会を開会いたします。

本日の司会を担当させていただきます庶務係長の酒井でございます。どうぞよろしくお願い致します。

## 市長あいさつ

司 会

それでは、協議会の開催にあたり、森市長がご挨拶申し上げます。森市長、よろしくお願いいたします。

市 長

(森市長あいさつ)

司 会

ここで、委員の皆様にはお断り申し上げて、お許しいただきたいと存じますが、森市長は、このあと、別の公務が予定されておりますので、退席させていただきます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

(市長退席)

## 新委員の紹介

司 会

それでは、会次第に従いまして、進行させていただきますが、前回の運営協議会以降、委員に変更がございましたので、新たな委員をご紹介申し上げます。

保険医又は、保険薬剤師を代表する委員として、鹿児島市歯科医師会会長の下田平幸一委員、公益を代表する委員として、鹿児島商工会議所事務局長の久保誠委員が就任されております。

お二方からひとことご挨拶をお願いいたします。

(新委員あいさつ)

以上で、新委員の紹介を終わらせていただきます。

## 当局の紹介

司 会

続きまして、鹿児島市側の出席者をご紹介させていただきます。

はじめに星野市民局長でございます。田畑市民文化部長でございます。池之上国民健康保険課長でございます。

以上で、本市の出席者の紹介を終わらせていただきます。

## 会長あいさつ

司 会 それではここで、井戸会長よりご挨拶をいただきたいと思います。  
よろしくお願いいたします。

会 長 (会長あいさつ)

司 会 ありがとうございます。

## 定数充足

司 会 それでは、会を進めてまいります。本日の会議の成立についてでございますが、委員18名中16名のご出席をいただいておりますので、開会のための定数過半数を満たしておりますので、本会議が成立いたしますことをご報告申し上げます。

また、議長につきましては、鹿児島市国民健康保険条例施行規則第4条で会長が務めることが規定されておりますので、井戸会長には、議事の進行をお願いいたしたいと存じます。

議 長 只今、事務局の方から本日の会議は成立するとの報告がありましたので、早速、議事に入らせていただきますが、会がスムーズに進行しますよう、皆様方のご協力を賜りたいと思います。

## 会議録公開

### の是非

議 長 それでは議事に入ります前に、鹿児島市の情報公開条例に基づく会議録公開の件について、ご了承いただきたいと思ひます。

会議録は「審議・検討等に関する情報」に当たり、全部開示の場合、「開示することにより、自由率直な意見交換、発言、提案等が妨げられるおそれがある」ことから、本協議会におきましては従来より、会議録の開示請求があった場合には、発言者名を非開示とする取り扱いとしてきております。

本日の会議につきましても、特にご異論がなければこれまでと同様の取り扱いにしたいと思ひます。皆さま、よろしいでしょうか。

各 委 員 (「異議なし」の声あり)

議 長 ご異議がないようなので、そのような取り扱いとします。

また、同条例に基づき、当協議会開催後に「開催日時、出席者の氏名、会議に付した事案の件名、議事の概要等」について、ホームページにて公表することとなりますので、ご了解いただきたいと存じます。

会議録署名

委員の選出

議 長

次に、「会議録署名委員の選出」でございますが、本日の会議録署名委員は、水流涼子委員、池田耕治委員、槇沢幸雄委員の御三方にお願い致したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。

各 委 員

(「異議なし」の声あり)

議 長

ご異議もないようなので御三方にはよろしく申し上げます。

議 長

それでは、早速議事に入ります。資料1の「国民健康保険運営協議会の開催状況等」について、事務局から説明をお願い致します。

事 務 局

(事務局説明)

議 長

只今の説明についてご質問等はございませんでしょうか。

各 委 員

(質疑なし)

議 長

それでは、次に「報告・説明 I」でございます。  
資料2の「(1)本市の国民健康保険事業の現状」について、事務局から報告をお願いします。

事 務 局

(事務局説明)

議 長

ただいまの報告についてご質問等はございませんでしょうか。

各 委 員

(質疑なし)

議 長

次に、資料3の「(2)パブリックコメント実施結果説明」について、事務局から報告をお願いします。

事 務 局

(事務局説明)

議 長

ただいまの報告についてご質問等はございませんでしょうか。

委 員

資料3の3ページの右側の対応Cの番号90のはり・きゅう施設利用補助制度の見直しについて書いてありますが、これは決算でいうと保健事業にあたるものですか。それとも別のものですか。以前、マスコミにも色々

ありますけど、補助するお金は国民健康保険を使ってはりきゅうをする場合はお医者さんが診たり確認したりわけですが、補助する額は医療保険は関係ないところに対する補助という考えでよいですか。

国保課長

只今のご質問につきましては、市単独で行っております、はり・きゅうの施設利用補助でございます。いわゆる病院において先生が同意、診断してこの部分については、はり・きゅうが必要だという部分とは別のもので、市単独で行う部分でございます。

議 長

他にございませんでしょうか。

次に諮問議案「国民健康保険財政健全化計画（案）」の審議に入ります。それでは、資料4について事務局から説明をお願いします。

事 務 局

（事務局説明）

議 長

只今説明がありました諮問議案について、ご意見・ご質問等はございませんでしょうか。

委 員

諮問議案の2ページの計画策定の背景で、「例年、一般会計から法定外繰入金を約22億円繰り入れており」と書いてあります。今後30年度から県の方に主体が変わっていくと繰入金の法定外のところを減らしていくとのことですが、今後の見通しの中で、税率の改定部分に繰入金の増額の検討というのは法定外のところを増やすということでしょうか。

国保課長

ご指摘の部分についてはそのとおりでございますが、ただ、税の改定につきまして、後ほど資料5と6でご説明しますが、税が今後上がるのか改定しなくてもよいのか、そこは今後県が示します標準保険料率等を参考にこちらの方で試算しまして、その後に協議会にお諮りしたいと考えています。

ご指摘の内容についてはそのとおりでございます。

委 員

医療費適正化に向けた取り組みですが、小中高校生が大人になった時に病気にならない方法、子供たちが病気にならない対策、生活習慣病や歯の健康といったことに対する他の部署へのアプローチはしているのでしょうか。

国保課長

17ページに関連した部分ですが、鹿児島市、鹿児島県で問題となっている糖尿病性腎症重症化についてでございますが、部署が保健所になりますので、保健所と協議しております。その中で重症化だけではなく若者の

部分についても議題の中で保健所と打合せをしているところがございます。

委員 この部分が大事でして、累積赤字を減らす現行の対策はこれでよいのですが、10年、20年、30年先のことを考えると子供たちの健康が将来のこの累積赤字を減らすというふうになると思いますので、よろしく願いします。

国保課長 追加の補足ですが、17ページ(カ)のKDBシステムには被保険者全員のデータが入っていますのでこの中から若年者を引き抜くこともできますので、そういうことにも活用していきたいと思います。

委員 意見になるかと思いますが、特に先ほどの若年者層の点にプラスして、地域・職域が一緒になって進めていくというのは大事と考えていまして、職域のうちに健康なまま過ごしてもらって、年齢がいった国保に移っても健康なままでいれば一人当たりの医療費が下がることも見込まれると思います。被用者のほうで取り組みを色々やっているの、ぜひ地域・職域一緒になって、例えばCKDネットワークも可能であれば一緒に進めていきたいと思います。ジェネリックも、32年までに80%を目指せということなので、ここについても一緒になってやっていけば鹿児島市にとっても利益になるのではないかと思うので、何か取組があればぜひ職域にも情報をいれていただきまして一緒にすすめていきたいと思います。意見ですので、特に回答はしなくていいです。

委員 17ページの未点検レセプトとはどういことですか。

国保課長 制度といたしましてレセプトは、まず国保連合会で第一次の検査をし、普通の市町村であればそのまま医療費にあがっていきますが、鹿児島市におきましては他の市でもやっていますが、単独事業で国保連合会がレセプト点検をしたものをもう一回、項目を増やして点検をしまして、誤り等がありましたら指摘させていただいております。効果も数千万円単位であっております。

議長 それでは、他にございませんか。

本日の審議は、この程度に留めておいて、この続きは、次回の協議会にて審議を継続したいと思います。

委員のみなさまよろしいでしょうか。

各委員 (「異議なし」の声あり)



閉 会  
司 会

議長を務めていただきました井戸会長には、たいへんお疲れ様でございました。

また、委員の皆様、長時間にわたるご審議ありがとうございました。

次回の10月末に予定している協議会については、後日、案内させていただきます。よろしくお願いいたします。

以上をもちまして、平成29年度第1回国民健康保険運営協議会を終わらせていただきます。

皆様、ありがとうございました。